

文法	/12	重要語	/18	文脈	/51	段落構成	/8	主題	/11	合計	/100
----	-----	-----	-----	----	-----	------	----	----	-----	----	------

伊勢物語 東下り

教科書

p.65
p.67

1 文法 次の各文における傍線部の助詞「ば」の用法をそれぞれ選べ。

- (1) 富士の山を見れば、五月のつごもりに、雪いと白う降り。 (六・5)
 (2) 京には見えぬ鳥なれば、みな人見知らず。 (七・2)

- ア 順接の仮定条件 イ 順接の確定条件 (原因・理由)
 ウ 順接の確定条件 (偶然条件)

(1)
(2)

〈各1点〉

2 文法 次の空欄に適切な語句を入れて、助詞の表を完成させよ。

〈各1点〉

し	ば	助詞	
		種類	接続
副助詞	接続助詞	未然形	已然形
種々の語	種々の語	1 順接の仮定条件 (…ならば／…たら／…ば)	2 順接の確定条件
(3)	(2)	意味・用法 (現代語訳)	
(1)	(3)		

3 文法 次の文における傍線部の「し」を文法的に説明せよ。

唐衣きつつなれにしつましあればはるるきぬる旅をしぞ思ふ (六・9)

〈各2点〉

(3)	(2)	(1)

重要語の確認

1 語句 次の語句の本文中での意味として最も

適切なものを、それぞれ選べ。

〈各2点〉

- (1) 惑ふ (五・3) ア あわてる イ 戸惑う ウ さまよう
 (2) 文 (六・2) ア 学問 イ 手紙 ウ 書物
 (3) うつつ (六・3) ア 現実 イ まぼろし ウ 夢
 (4) わぶ (六・14) ア 謝罪する イ 落ちぶれる
 ウ 嘆く

2 語句 次の空欄に入るように、傍線部の意味

を答えよ。

〈各2点〉

- (1) いとおもしろく咲きたり。 (五・6) 咲いている。
 (2) たいそう「すずるなる目を見る」 (五・12) 「目に遭う」
 (3) 五月のつごもりに、 (六・5) 「目に遭う」
 (4) 五月の「みな人ものわびしくて」に、 (六・15) 「て、人々は皆」

3 語句 次の漢字の読みを現代仮名遣いで答え

よ。

〈各1点〉

- (1) 唐衣 (五・9) 「
 (2) 修行者 (五・13) 「

文脈を理解する

1 提讀 「身をえうなきものに思ひなして」(六・一)を現代語訳せよ。 <2点>

[Blank box for answer]

2 文法 次の各文における傍線部の格助詞の用法をそれぞれ選べ。 <各1点>

- (1) 住むべき国求めに。(六・二)
- (2) 一人二人して行きけり。(六・三)
- (3) 八橋といふ所にいたりぬ。(六・四)
- (4) ある人のいはく、(六・七)
- (5) 旅の心をよめ。(六・八)

ア 手段・方法 イ 動作を共にする相手 ウ 帰着点
 工 主格 才 動作の目的 力 連体修飾格

(1)
(2)
(3)
(4)
(5)

3 「下りみて」(六・六)について、

(1) 文法 「下りる」の活用の種類と活用形を答えよ。 <完答1点>

[Blank box for answer]

(2) 語句 「下りみて」とはどのような動作か。最も適当なものを、次から選べ。 <2点>

- ア 馬から降りて座る イ 都からやって来てここに
- ウ 牛車から降りて座る 工 船から降りて座る

[Blank box for answer]

第二段落

第一段落

4 和歌 「かきつばたといふ五文字を句の上に据ゑて」(六・七)のようにして歌を詠むことを何というか。漢字二字で答えよ。 <2点>

[Blank box for answer]

5 和歌 「唐衣」(六・九)の歌に用いられている次の修辭を抜き出せ。 <完答各2点>

- (1) 枕詞 () 導き出す語 ()
- (2) 序詞 () 導き出す語 ()
- (3) 掛詞 () () () ()
- (4) 「唐衣」の縁語 () () () () () ()

6 文法 次の各文における傍線部の助詞の説明として最も適当なものを、それぞれ選べ。 <各1点>

- (1) いと暗う細きに、(六・12)
- (2) 見ることと思ふに、(六・12)

(1)
(2)

ア 接続助詞(単純な接続) イ 格助詞(添加)
 ウ 接続助詞(逆接の確定条件) 工 格助詞(原因・理由)

7 「いかでかいまする」(六・13)について、

(1) 文法 「いまする」の敬語の種類と敬意の対象を答えよ。

[Blank box for answer]

(2) 提讀 「いかでかいまする」を現代語訳せよ。 <2点>

[Blank box for answer]

8*

内容 「その人」(六・一)とは、男にとってどのような人か。答えよ。
 (各2点)

--	--

9

「駿河なる…」(六・3)の歌について、

和歌 序詞を抜き出し、それが導き出す語を答えよ。
 (各2点)

序詞

--	--

導き出す語

--	--

内容 「夢」と対応している言葉を抜き出せ。

--

常識 「夢にも人にはあはぬなりけり」にはどのような意味が込められているか。最も適当なものを、次から選べ。

- ア 夢であなたに会わないのは、私を思ってくれないからだ。
- イ 夢で私に会わないのは、あなたを思っていないからだ。
- ウ 夢でお互いに会わないのは、お互いに思っていないからだ。
- エ 夢であなたに会わないのは、あなたを思っていないからだ。

--

第四段落

第三段落

10

文法 「時知らぬ…」(六・7)の歌について、係助詞と結びの語を抜き出せ。
 (完答2点)

--

内容 富士の山に対して「時知らぬ山」と驚嘆しているのはなぜか。二十字以内で答えよ。
 (3点)

--

11*

指示 「こゝ」(六・9)とは、具体的にはどこか。本文中から一語で抜き出せ。
 (2点)

--

12

語句 「塩尻」(六・10)はどのような形をしているか。答えよ。
 (1点)

--

13

文法 次の各文の傍線部の助詞の説明として最も適当なものを、それぞれ選べ。
 (各1点)

- (1) 「はや舟に乗れ。日も暮れぬ。」と言ふに、(六・15)
 - (2) さる折しも、(七・1)
 - (3) 水の上遊びつつ、(七・2)
- ア 接続助詞(動作の並行) イ 格助詞(引用)
 ウ 副助詞(強意) エ 格助詞(並列)

--

